

平成28年度 神奈川県立舞岡高等学校 不祥事ゼロプログラム(検証)

1 目標及び行動計画と実施状況

取組課題		目標 (達成すべき内容)	行 動 計 画	実施状況
①	法令遵守意識の向上(公務外非行、職員行動指針の周知・徹底を含む)	教育公務員として、常に高度な行為規範を意識し、「神奈川県職員行動指針ガイドブック」を再確認し、校務外非行を根絶する	i 朝の打ち合せや職員会議で社会人としてのモラル、公務員としての倫理意識についての啓発を定期的に行う	○年間を通して朝の打ち合わせで職員全員を対象に1日1人、事故防止宣言を実施した。 ○公務外非行の具体的な新聞報道や県からの情報を朝の打ち合わせや職員会議で取り上げ、注意喚起と意識の啓発を行った。 ○不祥事防止会議では「神奈川県職員行動指針ガイドブック」や県からの資料等を使い、実際に起こった事例を担当教諭が発表し、自覚を深めた。 ○職員室等でお互いに声を掛け合い意思表示ができる風通しのよい職場環境づくりを心掛けた。
			ii 「神奈川県職員行動指針ガイドブック」を再確認し、日頃から法令を遵守し、県民の疑惑や不信を抱く行為はしないよう意識を高める	
②	わいせつ・セクハラ行為の防止	モラル意識を高め、セクハラ、わいせつ行為を未然に防止する	i 「神奈川県個人情報保護条例」に基づき、個人情報の収集・登録・管理・廃棄を適切に行うとともに、携帯電話等は教育指導上必要な、緊急性を要する業務上の連絡に限って使用できることを改めて徹底する	○メール、ライン等の不祥事、事故を全職員に報告し、その正しい使用の仕方や事故に関する規範意識を高めることにより不祥事防止に努めた。 ○管理職等による校内巡回を行い、準備室等の確認をした。 ○不祥事防止会議等で県等の関係資料を使って研修を行い、セクハラ、パワハラについて職員の認識を深めた。
			ii 所属職員を対象とした人権に関する研修会(セクハラ等を含め)を実施し、良好な人間関係の構築に努めるとともに相談体制の周知を行い、組織的な対応を行う	
③	体罰・不適切指導の防止	「体罰防止ガイドライン」を再確認し、体罰を防止と適切な生徒指導を行う	i 「体罰防止ガイドライン」を再確認し、部活動指導において複数顧問を配置するとともに相互チェック体制を整える	○「体罰防止ガイドライン」等を参考に不祥事防止会議を行い、体罰防止への認識を深めた。 ○部活動や生徒指導等では、複数で生徒に対応するように指導した。 ○部活動の顧問会議等で部活動運営について横の連携を図った。 ○県の作成した体罰のチェックシートを使い、自分の行動を確認し、予防に努めた。 ○顧問同士、お互いに声を掛け合う環境づくりを行った。
			ii 所属職員を対象とした人権に関する研修会(体罰を含め)を実施し、良好な人間関係の構築に努めるとともに相談体制の周知を行い、組織的な対応を行う	
④	成績処理及び進路関係書類の作成・取扱いに係る事故防止	成績処理及び調査書等発行に係る事故防止について確認作業等の徹底を図る	i 成績処理・調査書等を発行するにあたりデータ・記載事項の照合・点検作業をマニュアル等が確実に実施できる体制を整え、なおかつ徹底する	○成績処理マニュアルを遵守し、計画的に確実に複数の人員により確認作業を行い、事故なく処理することができた。 ○成績処理シートの確認作業をマニュアルに加えて、個人、各教科で事故防止に努め、最終的に管理職点検を計画的に行った。
			ii 朝の打ち合せや職員会議で伝達指示を徹底するとともに、事故防止意識を醸成する	
			iii 入選業務において、マニュアルを再確認を行うとともに、チェックシートを活用する	
⑤	個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報を適切に取り扱い紛失・流出を防止するとともに確実な点検を行う。	i 「神奈川県個人情報保護条例」に基づき、個人情報の収集・登録・管理・廃棄を適切に行うとともに、携帯電話等は教育指導上必要な、緊急性を要する業務上の連絡に限って使用できることを改めて徹底する	○個人情報や成績等に関する書類について引き続き、施錠ができる場所に安全に保管した。 ○個人情報の持ち出しについては管理簿で管理職が徹底を図った。 ○行政文書の保存期間を管理簿で確認し、適切な処理を行った。
			ii 「ヒヤリハット」事例をまとめ、事故防止会議や研修会で活用する	
			iii 所属職員を対象とした個人情報の取り扱いに関する研修会を実施し、個人情報の適切な保管・管理を徹底する	
			iv 定期的に個人情報に係るセキュリティ・チェックを実施し注意を喚起する	
			v 携帯電話、電子メール、USBメモリ等記憶媒体の不適切使用がないよう注意喚起を行う	
⑥	交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通安全への意識を高めるとともに、交通事故の発生を未然に防止し、酒酔い、酒気帯び運転を根絶する	i 朝の打ち合せや職員会議で公務員等の交通事故に関する情報提供を行い、交通事故防止の意識を高める	○不祥事防止会議、朝の打ち合わせを通じて事例を交えて研修等を行い、職員の教育公務員としての自覚を高めた。 ○交通安全と交通法規遵守について職員会議等で意識を高めた。
			ii 交通規則の遵守を定期的呼びかけ、酒酔い・酒気帯び運転防止の徹底する	
⑦	業務執行体制の確保(情報共有・相互チェック体制・業務協力体制)	不祥事発生の危険を意識し、事故が起きないように努める	i 職員啓発資料やヒヤリハット事例などを活用し職員会議等で情報の共有と事故防止の意識を高める	○業務について、前年の反省を踏まえ、グループ会議や学年会議等で、十分検討してから、企画会議や立案することを徹底させた。 ○職員室でお互いに声を掛け合い、何でも話せる環境づくりに努めた。 ○個人で業務をすることなく、グループ全体、学校全体で実施する意識づけを行なった。
			ii 定期テスト等の事故防止について注意を喚起し、確認・点検を組織的に行う	
⑧	会計事務等の適正執行	「私費会計マニュアル」を再確認し、公正な予算編成と適正な執行に努める	i 「私費会計マニュアル」を再確認し、規準や方法に則して執行を行い、併せて確認を行う	○私費会計マニュアルを基に事務職員と連携し私費・県費等の指導を行い事故防止に努めた。 ○財務事務調査やPTAによる監査の際に、チェックシート等を使い、会計に関する確認を行ない、予防に努めた。
			ii 所属職員を対象とした私費会計取扱いに関する研修会を行う	
舞岡高校独自目標	① 行政文書及び共有データの管理	重要個人情報を含まない文書を適切に管理する	i 行政文書の取り扱いに注意し、保管・管理を徹底する	○行政文書の保存期間の目安及びその管理について全教員に周知した。 ○データ管理について、検討を行い、職員全体で確認を行い、事故の予防に努めた。 ○対策重要度Ⅱのデータ保存について暗号化、パスワードの徹底を図った。
			ii 管理場所・電子データ用フォルダを決め、学年及びグループ等の組織として適切に管理する	
			iii 対策重要度Ⅱのデータの共有フォルダへの保存については、暗号化またはパスワードの設定等の徹底を図る	